



**子**どもからシニアまで、生涯スポーツとして多くの人々に親しまれるバドミントン。今回紹介する「TOKIWABC」は、毎週火曜日の夜にバドミントンを楽しむサークルです。代表を務める佐藤さんらは、以前小見川のバドミントンクラブまで足を運んでいました。そんな折、町主催の教室が開催されることを耳にし、参加してみようということに一。全10回の教室が終了すると「地元で気心の知れた仲間と楽しくバドミントンをしたい」との思いから、小学校のPTAで声を掛けてメンバーを募集しました。天候に左右されず、仕事にも影響がないよう、常磐小学校の体育館を夜間に借りて、地域密着型のサークルを3年前に立ち上げたのです。現在は、男女合わせて15名のメンバーで楽しく活動しています。

まずは入念に準備体操をして、基礎練習を行います。体育館にはコートを2面作り、対面して互いにショットを反復練習。シャトルを高く打ち上げる「クリア」、ネット上で平行に打ち合う「ドライブ」、バックラインからネット近くに落とす「ドロップ」、ネットの際から際へ落とす「ヘアピン」、そして鋭く打ち込む「スマッシュ」な

# サークル CIRCLE ZUKAN 鑑

## 第35回 バドミントンサークル 『TOKIWABC』

- ①活動歴 3年
- ②年齢層 30代～40代の男女
- ③活動場所 常磐小学校体育館
- ④活動時間 毎週火曜日  
19:00～22:00
- ⑤代表者 佐藤正男(さとうまさお)
- ⑥連絡先 ☎76-9988

ど一。体が十分に温まると、参加状況に応じてミックスダブルス・男子ダブルス・女子ダブルスなど、ゲーム形式の練習へ。緩急を使い分けるとさまざまなショットやフットワーク、相手との駆け引き、ダブルスはペアとのコンビネーションに加えて、パワーや瞬発力、持久力が勝負の鍵を握ります。1ゲーム1ゲームが真

剣勝負!! 空気を切り裂くシャトルの音が体育館に響きわたります。

発足当時は教室で講師を務めていた方々に、練習方法などのアドバイスを受けていましたが「楽しくワイワイ体を動かそう」がコンセプト。今後も指導者を招く予定はありません。年に数回開催される近隣地域や遠くは茨城などの大会にも参戦し、緊張感を味わうことがいい意味での刺激になっています。大会では60歳を超えても現役でプレーしている人を目の当たりにし「まだまだこれから!!」と、意気盛んなメンバーたち。力や若さだけではない、年齢を重ねた年々のスタイルで戦うことができるのもバドミントンの魅力です。「いい汗」かいて、ストレス発散!! うまいお酒も時には付きまします。今からでも遅くはありません。皆さんもチャレンジしてみませんか?



### 編集 後記

★4月の人事異動により、皆さんの後任として広報係に配属となりました。皆さんのような広報マンになれるかどうか不安ではありますが、パートナーの皆さんと力を合わせて、引き続き皆さんに親しまれる、読みやすい広報をお届けしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

★さて、今回パートナーとなった皆さんは、以前も同じ課で仕事をしたことがある本当に頼りになる先輩。また、広報係の自席から周りを見回すと、偉大な先輩広報マンの方がスラリ。プレッシャーを感じつつも先輩の皆さん、困った時は良きアドバイスをお願いしますと心から思う毎日です。★そんな新人広報マンの私が最初に取材させていただいたのは、4月から多古町職員に採用となった5名の若き精鋭たち。だいが緊張した表情でカメラに向かう姿を見て「そういう自分も採用された時、広報の取材を受けたよなあ」と気になり、当時の広報を探してみると、そこには今年の新人の皆さんと同じように緊張した表情の自分の姿が…。今の自分とのギャップにア然としながらも、当時の前向きで新鮮な気持ちで思い出出すことができました。皆さんも時々昔の自分や家族の写真を眺めてみてはいかがでしょう。もしかすると当時の楽しかった思い出や忘れてかかっていた何かを思い出出すことができるかもしれませんよ。★それは、こんな新人広報マンですが、これからのいろいろなお出でが、いかがでしょうか。どうぞよろしくお願いいたします。

